

女性のつながりサポート相談事業【春日井市】

総事業費	5,720 千円
交付金額	2,860 千円

地域の実情と課題

春日井市においても、新型コロナウイルス感染症の影響により、生活スタイルや働き方が変化したことで、社会との接点がなくなり孤立や孤独で不安を抱える女性や、休業や失業に直面する女性、経済的困窮などにより生理用品が購入できない「生理の貧困」など、様々な困難や課題を抱える女性が増加している。そのため、緊急的に女性の相談窓口を設置し、不安の解消に寄り添った支援を行うとともに、他機関と連携し必要な機関につなげる必要がある。

目的・目標

【目的】 NPO法人等に委託し、電話やSNSによる緊急的な相談窓口を設置し、不安を抱える女性の相談を受け、一人ひとりに適した支援機関につなげる。また、公共施設や学校を通じてチラシを配布するとともに、必要な女性に対して生理用品を配布し、相談窓口に繋げる。
 【目標】相談件数200件とした。

事業の特徴

不安を抱える女性が社会との絆・つながりを回復することができるよう、特定非営利活動法人等の知見や能力を活用し、電話やSNSによる相談を行い、既存の相談窓口と連携してきめ細かく支援する。また、必要に応じて支援機関への同行や生理用品の配布を行う。

連携団体

- ・公共施設や学校などが協力機関となり、市民への案内チラシや必要な方への生理用品を配布した。
- ・制度を活用した具体的な支援が必要な場合は、受託者であるNPO法人が核となり協力機関・支援機関と連携して支援した。

事業の効果

- ・ショッピングモールなどでイベントを開催し、幅広い世代に対して啓発を実施することができた。
- ・相談件数の目標は達成できなかったが、市の既存の相談窓口を併せて周知したことで、既存窓口の相談件数が大幅に増加したことから、女性を必要な支援につなぐことができたと言える。

今後の課題

- ・NPO法人がつながりサポート相談事業の受託経験を、いかに今後の活動に還元していくかが課題である。

事業の概要

○女性のつながりサポート相談事業

NPO法人等に委託し、電話やSNSによる緊急的な相談窓口を設置し、不安を抱える女性の相談を受け、一人ひとりに適した支援機関につなげる。また、公共施設や学校を通じてチラシを配布するとともに、必要な女性に対して生理用品を配布し、相談窓口に繋げる。

【相談日時】平日 午前10時～午後5時(月、木は午後9時まで)

【相談方法】電話、メール、SNS、面接

【相談件数】148件

【生理用品の配布】小中学校等で配布

【啓発活動】相談窓口案内チラシ・案内カードの配布、ショッピングセンターでのイベント開催、インスタグラムへの投稿

～コロナ禍の影響で孤独や孤立で不安を抱えていませんか？～

女性のつながりサポート事業

相談無料

心配な事ありませんか？
人に話してモヤモヤ→スッキリさせましょう。

パートナーにこんなことを言われて...
毎日が不安で仕方ない...
最近生理がいつもと違う...
これってDVなの...?
仕事が減ってしまい生活が苦しい...
この不調は年齢的な変化かな...
夫とうまくいかない...
コロナの影響で休みになり、学校や仕事へ行きづらくなった...
同居する家族との関係が...

※令和3年度の事例です

